



ファルカオフットボールクラブ 2023年度活動報告書

サッカー事業



4種リーグ県大会へ



クラブリーグA優勝

昨年度、優勝し昇格を決めたファルカオのトップチームであるジュニアユース。今年度行われた「高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2023埼玉 クラブリーグA」では昇格1年目でありながら、厳しいリーグ戦を戦い抜き、優勝を果たしました。

ファルカオよりも歴史のあるクラブや県内トップレベルのクラブと首位の座を争い続けました。リーグを通して上位をキープしながらも、上位チーム同士で勝ち点が並び、常に混戦状態でした。様々なプレッシャーがある中でも、選手たちは試合を通じて一つ一つ乗り越えていき、成長していきました。決して技術的にもフィジカル的にも突出している学年ではありません。ですが、持ち前の団結力と真面目さで優勝という結果を掴み取りました。彼らの次のステージでの活躍がとて楽しみます。

埼玉県リーグ2部昇格

「高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2023埼玉 クラブリーグA」にて優勝を果たしたため、埼玉県リーグ2部への参入戦への挑戦権を得ました。

1発勝負のため、緊張感溢れる試合となりました。相手は県内強豪の越谷千間台中学校。フィジカルレベルの高い相手との対戦であり、決して簡単な試合ではありませんでした。ですが、選手たちは高い集中力を持ち続け、熱い気持ちでプレーした結果自分たちのペースで試合を進めることができました。最終的に8-0でファルカオが勝利を取めました。この結果により、来年度の埼玉県リーグ2部昇格が決まりました。昨年度に引き続き、カテゴリーを一つ上げることが出来ました。まだまだ歴史の浅いクラブではありますが、一歩ずつ前に進むことができていると思います。この参入戦では中学2年生の選手たちがピッチに立ちました。これからのファルカオを担う選手たちと共に頑張っていくことはもちろん、これまでファルカオに携わってくれた選手たちの想いも大切にしながら、歩みを進めていきます。



子どもの居場所事業



スポーツを活用した地域コミュニティづくり

コロナ禍で活動休止を余儀なくされ、地域からもっと必要とされるスポーツクラブになるために開設した子ども第三の居場所「ファルカオスポーツベース」。日本財団はもとより、地域の企業様・お住まいの方々に支えられ、おかげさまで3年目を迎えることができました。少子化、核家族化、デジタル化、グローバル化、価値観の多様化など、さまざまな社会的背景によって、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。子どもの近くに大人がいられない時間が増え、子どもたちの孤立が目立つようになりましたが、そんな時代だからこそ、子どもたちにとって、家でも学校でもない“第三の居場所”が必要とされています。試行錯誤の日々が続いていますが、さまざまな工夫をこらして、地域の子どもたちと当施設との接点を増やし、支援が必要な子どものための居場所づくりを進めています。

直接体験の機会の提供



今年度は、アウトドア体験を行ったり、貝殻や砂など海のものを使ったキャンドルづくりを行ったりしました。子どもたちは、いつもにも増して大はしゃぎ。本当に楽しそうでした。大人が近くにいる時間が少ないと、このような体験ができず、「体験格差」が広がることが懸念されますが、その格差が将来に及ぼす影響は、決して小さくありません。わたしたちは、子どもたちがヒト・モノに触れ、実社会の中で関わり合いをもつ「直接体験」を大切にして活動しています。

イベント+子ども食堂の開催

2023年度は夏祭りやハロウィン、クリスマス会などさまざまなイベントを開催しました。これらのイベントにより地域の方にファルカオスポーツベースの存在を知ってもらい、触れてもらうことができました。またイベントの際に毎回同時開催している子ども食堂では、



多くの企業や個人の皆様から食材等の寄付を頂戴し、温かい食事を提供することができました。支援の輪が広がり、地域の宝である子どもを、地域全体で育てていくカタチが徐々にできつつあります。

広がる支援の輪

わたしたちの活動はたくさんのボランティアスタッフの方々や、企業そして地域の皆さんに支えられています。



当クラブの活動を支援していただいた皆様

公益財団法人日本財団/一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワーク/
認定特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ/
株式会社ライフコミュニケーション/株式会社フジハウジング/
イオンアグリ創造株式会社/株式会社埼玉りそな銀行/株式会社エフテック/
株式会社三洋物産/株式会社フォーシーズ/株式会社ctiフロンティア/
ケーブルテレビ株式会社/久喜市/地域のみなさま